

金峰山山行報告書

(山域) 奥秩父

(コース) 大弛峠～朝日岳～金峰山～大弛峠～国師ヶ岳～大弛峠

(日時) 6月14日(日曜日)

(天候) 曇り

(参加者) CL: 内堀(記録)・SL: 狩野・吉瀬・時田・小宮山

(山行タイム) 6月14日(土) 大弛峠 6:55～朝日岳 8:00～金峰山 9:15～大弛峠 12:15

大弛峠 13:00～国師ヶ岳 14:00～大弛峠 14:40

(山行報告)

6/13(土) 夜内堀は四街道ウエルシアで待合わせして、狩野車で会事務所により仮眠用テントを車に乗せ千葉駅北口に向かう。吉瀬・時田・小宮山さん美人三姉妹と待合わせして21:00前に出発した。穴川ICより首都高の大井に抜け中央環状線から新宿の先に出た。この中央環状線はトンネルの中をただひたすら走る道で、渋滞になると気が滅入るが、空いている時に通ると早く抜けられる。新宿より八王子を素早く抜け勝沼ICまでアツの間に到着し、道の駅まきおかに到着した。23:50には宴会が開始していた。皆様かなり飲んだ様子で宴会を切り上げる。



早朝、テントに打ち付ける雨の音で目が覚める。4:40頃かな。

宴会のお酒が残り少し気持ちが悪い人が私含めチラホラ。テントを撤収し準備を済ませ出発。

車で大弛峠を目指す。かなりの急勾配と、くねくね道で男性陣は吐きそうになる。途中運転手の狩野さんは吐いてしまい。私が運転することになる。長く遠い道のりで道の駅から1時間程度で大弛峠に到着した。舗装の駐車場は一杯で長野県側の未舗装道路側に駐車した。

ここで登山準備をしていざ出発であるが、狩野さんは相当辛そうであり、顔色が悪い。大弛峠より軽い登りがあり何度か登り・下りを繰返し朝日岳に到着したのが、8:00頃



ようやく二日酔いが少し取れ朝食を採る。狩野さんは未だ食事も喉に通らず水分補給のみ。軽い朝食・写真を何枚か撮り出発。相変わらず登り・下りが繰り返され、岩場が出現し森林限界を通過し景色が一変する。五丈岩が見えてくる。あと少しである。岩場を歩き続けると金峰山頂上に到着した。大した汗もかかず到着してしまった。こんな簡単な金峰山登山は初めてである。やはり大弛峠からのコースは楽チンとあったが、何も手ごたえが無いままの到着である。この頃になると狩野さんの顔色は良くなる。但し、未だ食事は通らないようである。金峰山山頂での撮影と五丈岩前での撮影を終え帰りの帰路に着く。本日早い時間の割に人が多いと思う。後で大弛小屋の主人から開山際を 11:00 から実施の事であった。残念である。大弛峠では登山家の田部井淳子さんに遭遇したことを思い出した。そのためか？



帰りは来た道を只ひたすら軽い登り・下りを繰り返す時間的にもお昼に掛り、少し汗をかき始め、大弛峠に到着した頃にはお腹の調子も上がり始めた。大弛峠にて昼食の準備を行う。お湯を沸かしカップヌードル・スープ・お茶を入れ各自、昼食をする。狩野さんはようやく食事が出来たようで、回復したようであった。



これより本日第二段目の国師ヶ岳に向かう、大弛小屋を抜けといきなり階段が延々と続き、汗が出始める。40分程度で前国師ヶ岳に進み、そこより20分程度で国師ヶ岳に到着した。誰も人がいなく静かな山頂を堪能した。記念撮影時に時田さんは何を思ったのか、山梨100名山を山菜（字が崩れていたかもしれないが、梨を菜と間違えるとは？）100名山と言い出し、女性人は全員信じているようである。私が見ると山梨100名山と告げると、恥ずかしそうに、皆様は笑いを誘っていた。思い込みとは凄いものだ改めて認識した。私も気を付けよう。国師ヶ岳からの下山はアツと思う間に大弛小屋に到着、小屋で無料の甘酒を御馳走になり、下山終了。車に戻り帰り支度を行い、車で市内の花かげろうの湯で汗を流し、急いで中央道勝沼ICに乗ったが、今週も渋滞が既に発生しており、石川PAでの夕食を考えていたが、団子坂SAで夕食となった。小仏トンネルまでゆっくり進んだ。小仏トンネル以降は順調に進み帰葉した。私は今週も平日山行（皇海山）があり、気合を入れた。



以上